

学校教育への防災教育の取り組みについて

国土交通省 中部地方整備局 多治見砂防国道事務所

今井一之（※１）、有澤俊治、鈴木茂正、○山根宏之（※２）

NPO 法人 砂防広報センター 池田一平

（現所属※１：国土交通省水管理・国土保全局 砂防部 砂防計画調整官）

（現所属※２：富士砂防事務所 調査・品質確保課 火山対策計画係長）

１ はじめに

多治見砂防国道事務所では、土砂災害防止月間（６月１日～３０日）を中心に土砂災害への感心と防止対策への理解を深めるため、「砂防教室（妻木出張所・上松出張所）」「あおぞら教室（中津川出張所）」「中津川エクスカージョン（中津川出張所）」等の砂防現場見学会や出前講座、体験学習を実施している。

「砂防教室」「あおぞら教室」は主に小学校４年生を対象とし、学校の教室や砂防施設で「土砂災害防止パネル」や「土砂災害の映像」を利用して講義を実施したり、学校の校庭や砂防施設で「降雨体験機」や「土石流模型実験」を活用した体験学習を実施したりしている。「中津川エクスカージョン」は、中津川市に残る中山道の面影や歴史、文化を体験型見学会を通じて学び、改めて地域の魅力や強み、課題を見つめ直すことを目的に、現地見学会等を開催している。

今回は中津川出張所で実施した「あおぞら教室」「中津川エクスカージョン」を例に挙げて、学校教育への防災教育の取り組みを紹介する。

２ 学校教育への取り組み

小学校の学習指導要領が改訂され平成 23 年度から全面实施されている。その中で、「自然災害の防止」について 3 年生・4 年生及び 5 年生の社会科、4 年生の理科に導入され、教科書への「自然災害の防止」に関する記述が増えてきた。

防災や砂防といったやや専門的な内容を児童へ説明・習得させることは学校側にも負担が大きい。一方、行政側には防災に係る広報を充実させたいとの思いがある。学校教育の場において、事務所担当官自らが児童に対して説明を行うことによって、これらの課題を解決し、ひいては防災力の向上を図ってゆくこととした。

2.1 あおぞら教室

「あおぞら教室」は、出前講座等の単発的な活動から始まり平成 11 年より本格的な活動を開始した。内容は、四ッ目川遊砂工において、「砂防の話（写真 1 参照）」「降雨体験」「映像体験」「土石流模型実験（写真 2 参照）」「クイズラリー（砂防の話で説明した内容をクイズで出題）」を行い、最後に記念植樹を実施する。その後、湯舟沢床固工へ移動し、「魚道の話」「あまごの放流」「発電の話（関西電力による水力発電等の話し）」を実施して終了となる。



写真 1 あおぞら教室でパネルによる砂防の話をしている様子

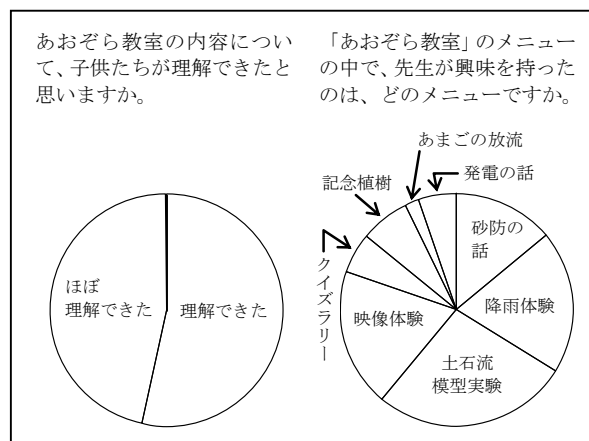


写真 2 あおぞら教室で土石流模型実験を行っている様子

平成 21 年度までは 6 校程度だった参加が、平成 22 年は 8 校、平成 23 年には 15 校（約 700 名）が参加するに至った。中津川市内の小学校は 19 校なので、約 8 割の小学校が参加したことになる。

また平成 23 年度には、参加した小学校の担任教師へアンケートを実施した。どのように「あおぞら教室」を知ったか、子供たちの理解度、先生が興味を持った項目等（図 1 参照）について確認したなかで、新学習指導要領に伴う「自然災害の防止」を教えるにあたり参考になったかを聞いたところ、全員の先生から参考になったとの回答を得た。なお、来年度の開催について参加の有無を確認したところ、全員の先生から参加する意向があると回答を得た。

図 1 アンケート結果（抜粋）



2.2 中津川エクスカーショ

平成 22 年度から中津川市西小学校の 6 年生が、中山道中津川宿の歴史と宿場を流れる四ッ目川、中津川の災害の歴史について学び、中津川エクスカーションとして現地で発表を行っている。10 名程度が 1 グループとなり、宿場にある高札場や本陣跡、枳形などの歴史を調べ、現地のポイント毎に、参加した一般市民に対してクイズを交えながら発表を行った（写真 3 参照）。また、過去の土砂災害として、昭和 7 年に発生した四ッ目川災害について、実際に土石流が流れた四ッ目川の橋の上で当時の状況を説明した（写真 4 参照）。平成 22 年は 220 名（関係者含む）が参加し、平成 23 年は 373 名（関係者含む）が参加した。



写真 3 中津川エクスカーションで小学生が中山道の歴史について発表している様子



写真 4 中津川エクスカーションで過去の土砂災害について説明をしている様子

3 おわりに

中津川出張所では、「あおぞら教室」のように継続的に防災教育を行いながら、「中津川エクスカーション」の様な新しい試みも実施している。今後は、「あおぞら教室」の内容の充実を図りながら、「中津川エクスカーション」のフィールドを拡大して行きたいと思っている。特に、現在「水神様からみる治山・治水」としてまとめられているが、中津川、四ッ目川流域に祀られている水神様と災害の歴史について調査（写真 5 参照）が行われており、今後は流域の小学校と共同で「中津川エクスカーション」として、調査、発表を行うことが出来る環境を整えていきたいと考えている。



写真 5 四ッ目川に祀られている水神様の祭事